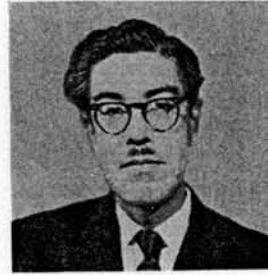


発刊の辞



日本塗装技術協会会長
(東京都工業奨励館館長)

吉田 衛

日本塗装技術協会が発足して以来、協会独自の協会誌発行を念願としておりましたが仲々機熟さず今日に到つたことは誠に申訳なく存じます。協会は必ずしも基礎が固まつたとは申し兼ねますが、塗装に関連ある業者は全国で万を優に越えるものと思われまじし、塗装そのものが国民生活に陰に陽に恩恵を与えている事実を眺める時、協会そのものの飛躍的發展を期し得ないのは努力の足らざるところと、その責任を痛感するものであります。過日來理事会を再三開き、協会の組織を改編し、強力に事業の推進を計ると共に、協会誌がたとえ始めは微々たるものであつてもそのスタートを切るべく決心したのであります。

塗料の躍進的進歩、新しい塗装機器類の出現、合理的塗装法あるいは精巧な塗装法の追求、被塗装物に対する塗装技術の拡張等めまぐるしい發展をとげつつあり、今や従来の塗装觀念に対し、更めて振り返り、技術革新に対応し更に積極的な検討を行なうべき時機にあると信じるものであります。協会は従来より講習会講演会見学会等を開催し新しい技術の周知方を行なつて参りましたが、今後は更にその回数を増加し、被塗装物に対する適正な塗料、適正な機器、適正な塗装法を熟知するために国内はもとより諸外国の技術を広く紹介し、國際競争下にある我が国工業界の進展に即応してまいりたいと存じます。

協会誌は會員相互を結ぶ唯一のものであります。苦しい中での産ぶ声でありますので立派であるとはいいい切れませんが、會員のために塗装技術向上のためにと努力している微衷を御賢察の上、心からなる御批判、御意見を賜り、立派な協会誌として育てて載くよう心から御願ひ申し上げます。

協会誌発刊に当り御願ひかたがた御挨拶申し上げます。